

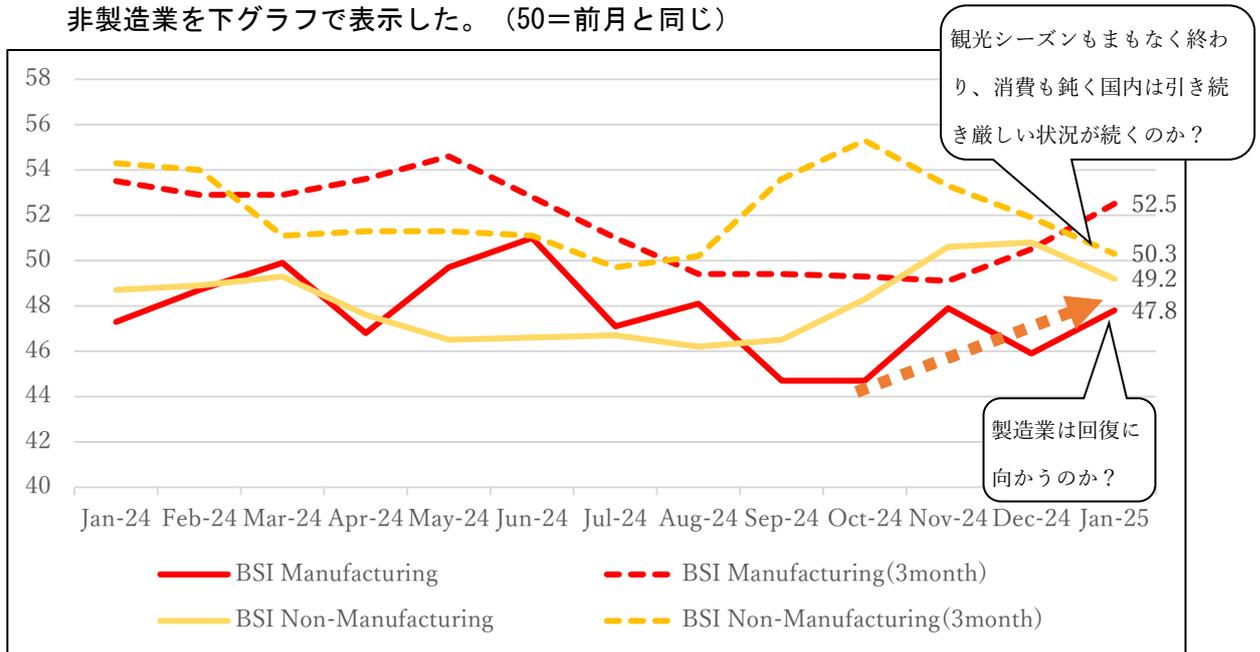
タイ経済指標斜め読み

(2025年2月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

1. 【指数データ：景況感指数】

タイ中央銀行は、1月のビジネス景況感指数（BSI）を発表した。今回は、BSIの製造業と非製造業を下グラフで表示した。（50＝前月と同じ）

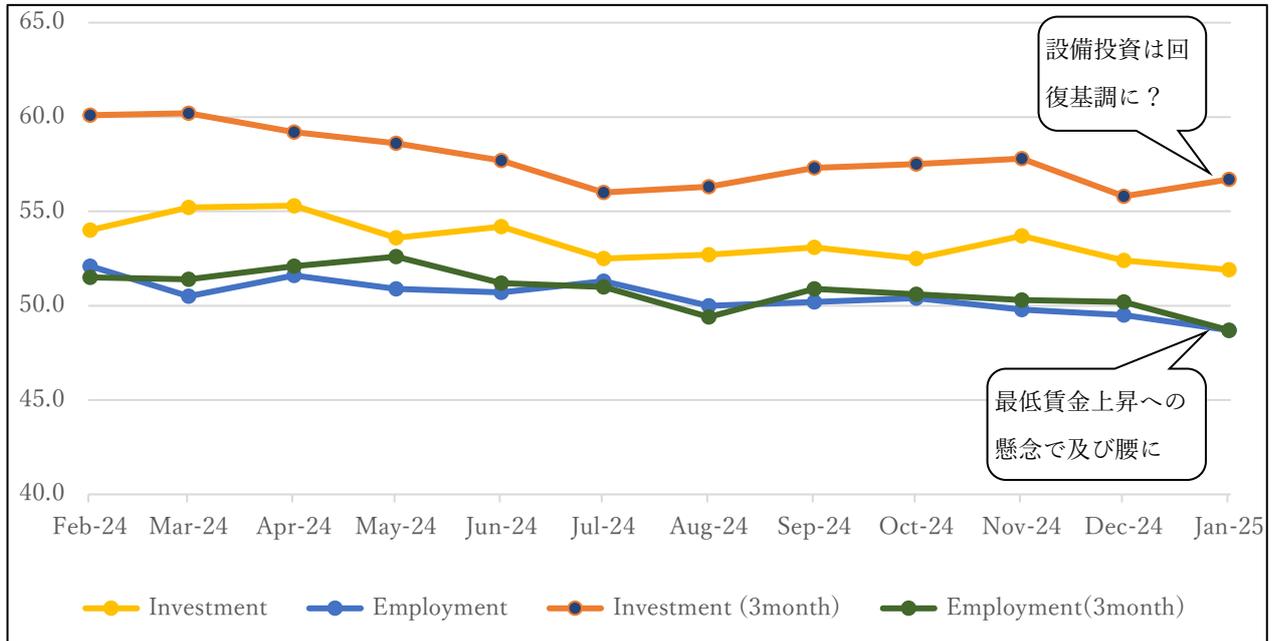


1月の製造業BSIは47.8、三か月後の期待値は52.5、非製造業BSIは49.2、三か月後の期待値は50.3となった。製造業は改善し、非製造業は改悪と正反対の結果となった。製造業BSIは、製鉄関連が改善へ寄与した。同三か月後の期待値では、食品関連、鯖缶などの注文が増加するとの見方と、それらを梱包するパッケージ製品の増加が見込まれるとのこと。一方、非製造業は貿易関係の落ち込みが影響。また日用品や宝飾品の取引が減少したとのこと。同三か月後の期待値では、中低所得層の購買力減退が挙げられたことと、高所得者向けの住宅販売が経済の不安定さを危惧し、売れ行きが落ち込むとのこと。

出所：<https://www.boi.go.th/>

2. 【指数データ：投資・雇用指数】

タイ中央銀行は、1月のBSI指標に於ける投資指数ならびに雇用指数を発表した。（50＝前月と同じ）

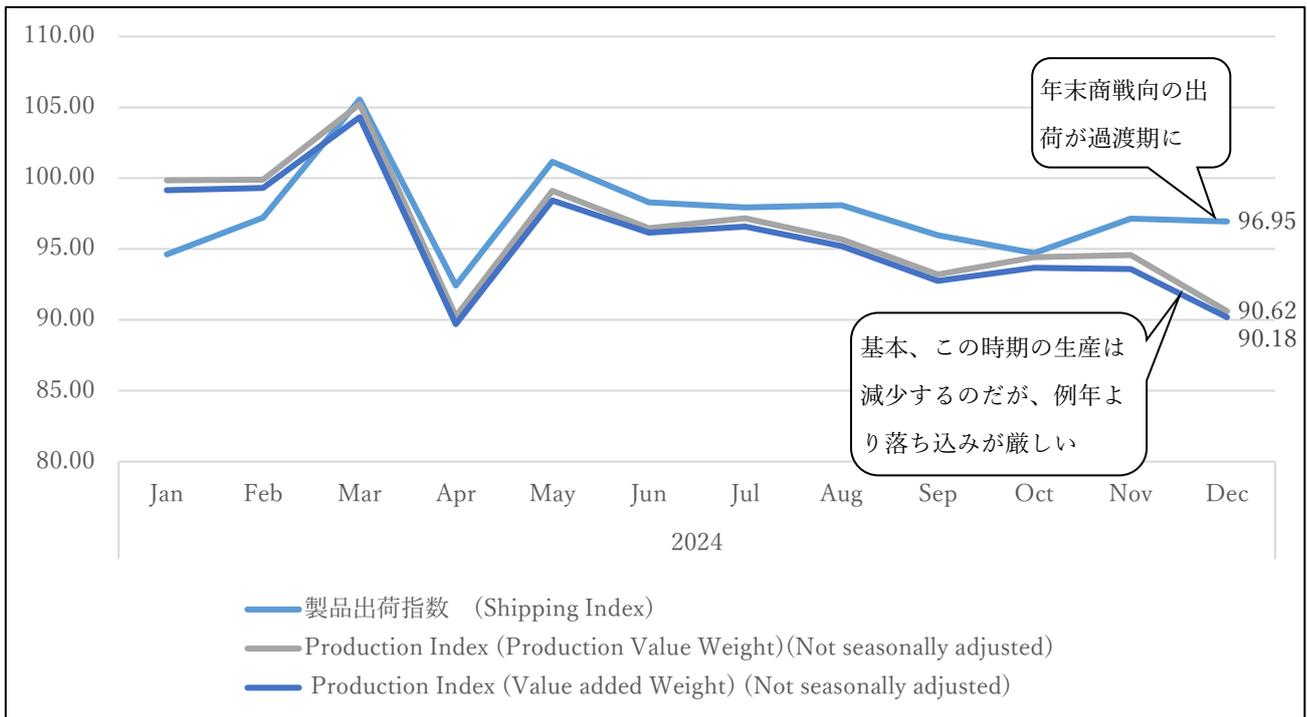


1月の投資BSIは51.9、三か月後の期待値は56.7となり、前月より改善となった。しかしながら、同指数は落ち込み傾向にあり、経済の不安定さを表す結果となった。一方、同3か月後の期待値は上昇。新たな設備増強やコスト削減策への投資を行う予定。次に雇用BSIは、3か月後の期待値と同じ48.7となり、前月から改悪が続いている。最低賃金上昇を懸念し、雇用の削減もしくは採用を控えていると思われる。

出所：<https://www.bot.or.th/>

3. 【指数データ：出荷・生産指数】

タイ工業省工業経済事務局（OIE）は、12月の製品出荷指数ならびに生産指数を発表した。（100=2021年）



12月の製品出荷指数は96.95、生産指数（生産価値重視、季節調整無し）は90.62、生産指数（付加価値重視、季節調整内無し）は90.18となった。12月はクリスマスシーズン用の製品の出荷が増え同指数は前月と同じ状況となった。一方、生産指数は年末の連休などがあり、生産性は改悪となった。1月になればまた改善すると思われる。

出所：<https://i.index.oie.go.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2024 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。